

# 陽と人(国見)知事賞

## 藤寿産業(郡山) 福島民報社賞

### 第10回ふくしま産業賞



陽と人  
小林味愛  
社長

卓越したものづくりの技、地域活性化につながる企業活動をたたえる福島民報社主催「第10回ふくしま経済・産業・ものづくり賞(ふくしま産業賞)」の受賞者が決まった。県内の企業・団体から77件の応募があり、最高賞の知事賞には国見町の陽と人(ひと)とひと、小林味愛社長が輝いた。女性が社長を務める企業の知事賞賞は初めて。福島民報社賞には郡山市の藤寿産業(西村義一社長)が選ばれた。

受賞者は「表」の通り。知事賞1件、福島民報社賞1件、金賞2件、福島民報社奨励賞2件、銀賞7件、特別賞11件、夢スタートアップ賞・次代応援賞1件の計25件が選出された。知事賞の陽と人はビジネスの手法で地域課題の解決に取り組みゼブラ企業の一つ。2017(平成29)年、元大手シンクタンク社員の小



藤寿産業  
西村義一  
社長

同町特産のあんぼ柿の加工過程で除かれる皮を使った女性用ケアオイルも販売し、働く女性の健康課題の解決にも力を入れている。福島民報社賞には選ばれた藤寿産業は県産木材の活用に向けて技術革新を重ね、高品質な製品の供給に取り組んでいる。産学連携で開発され、国内屈指の集成材工場で生産された製品は県内外で高く評価され、県産材のブランド力向上に貢献している。集成材は東京都のJRS山手線の高輪ゲートウェイ駅や2025(令和7)年大阪・関西万博のシンボルとなる世界最大級の木造の大

知事賞	
陽と人	(国見)
福島民報社賞	
藤寿産業	(郡山)
金賞	
イービーエム	(福島)
おのざき	(いわき)
福島民報社奨励賞	
会沢高圧コンクリート	(浪江)
共栄	(いわき)
銀賞	
イームズロボティクス	(南相馬)
アグリ・コア	(相馬)
ABCクリニック新妻産婦人科	(福島)
コアシステムジャパンいわき支店	(いわき)
福島セルファクトリー	(福島)
福島三技協	(福島)
遠野興産	(いわき)
特別賞	
郡山中央交通グループ	(郡山)
北日本金型工業	(会津若松)
グリーンズグリーン福島	(喜多方)
ユニフォームネット	(郡山)
新田商店	(会津美里)
共和建商	(白河)
トラスト企画	(いわき)
和農	(田村)
木村管工	(富岡)
いわきチョコレート	(いわき)
情報整備局	(須賀川)
夢スタートアップ賞・次代応援賞	
山中煎餅本舗	(喜多方)

※銀賞、特別賞の並びはエントリー順

## 山中煎餅本舗(喜多方)受賞



山中煎餅本舗  
渡部ひとみ  
代表

ふくしま産業賞10回を記念して福島民報社、とうほろ地域総合研究所(とうほろ総研)、県信用保証協会が今回設けた夢スタートアップ賞には、喜多方市の山中煎餅本舗(渡部ひとみ代表)が選ばれた。同店は今回から新たに設けられた次代応援賞にも輝いた。山中煎餅本舗は築120年以上の蔵を改装し、昨年11月に一棟貸しの宿泊施設

「蔵の宿MARUTOKO(まるとこ)」としてオープンさせた。歴史的建造物を後世に残すとともに観光客の滞在時間を長くし、喜多方の魅力発信につなげる狙いだ。市内酒蔵の日本酒飲み比べ、会津地方の郷土料理が楽しめるプランなどがある。隣接する店舗では七輪を使ったせんべい焼き体験ができる。蔵の土間は貸しスペースにし、ワークショップの実施や伝統工芸品の販売などに活用している。夢スタートアップ賞には

県内企業経営者、学生から計44件の応募があった。福島民報社、とうほろ総研、県信用保証協会は2025(令和7)年度の1年間、山中煎餅本舗を伴走支援し、経営を後押しする。次代応援賞はふくしま産業賞への応募者のうち、若手経営者や社会課題に果敢に挑む経営者、スタートアップ(新興企業)代表らが対象。元日本弁理士会長で長年ふくしま産業賞の選考委員を務めた佐藤辰彦さん(福島市出身)が福島民報社に寄せた善意から10万円を贈る。

10回記念「夢スタートアップ賞」新設「次代応援賞」

表彰式は来年2月7日、福島市の民報ビルで行う。

屋根(リンク)などに採用された。都心で国内最高層となる木造ビルの建築にも取り入れられるなど、需要が高まっている。

表彰式は来年2月7日、福島市の民報ビルで行う。